



学 校 だ よ り

1 1 月 号

都 筑

令和3年10月29日
横浜市立都筑小学校
校長 井上 由美子

学校HP <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsuzuki/>

「学ぼう つながろう やりとげる 都筑の子」

「読書の秋」のススメ～ver2～

副校長 谷口 佐智子

先日、10月23日（土）に「にこにじスポーツフェスティバル」を無事に行うことができました。今年度も制約のある中でしたが、子ども達が思いきり体を動かし、楽しそうな笑顔が見られたことが、私達職員にとってもとても嬉しいことでした。運営にあたって、PTAボランティア、おやじの会の方々をはじめ、地域・保護者の方々から、主旨や内容をご理解いただき快くご協力していただいたおかげで、安心・安全のもと終了することができました。心より感謝いたします。

季節が流れ、瞬く間に秋深くなりました。「〇〇の秋」と言われるように、物事に集中して行うにはよい季節になってきました。今回も昨年度に引き続き、再び「読書の秋」をススメていきたいと思います。

10月27日から11月9日までの2週間は読書週間です。横浜市立学校では、11月の第一金曜日を「はまっ子読書の日」と制定し、読書の啓発活動を行っています。本校でも、図書委員会が読書週間のイベントを企画しています。さらに図書ボランティアさんによる「パネルシアター」などの読書推進活動も予定されています。

私は学級担任時、子ども達に毎日「読み聞かせ」をした経験があります。お話を読み進めていくと「今日はこの続きからだよ。」とか、「次はこのお話を読んでほしいな。」という反応が出てきます。本を置いておくと「自分で読んでみよう。」とか「もう一度読みたいな。」と言って自分から本を手にする子が増えます。そのうちお互いに感想を言い合ったり、好きな場面を伝え合ったりする様子が見られます。同じ本を読んでいると、「主人公〇さんみたいだね。」とか、「これってあの場面みたい。」と学級全体で思いを共有する楽しさがありました。

こういった姿は、昨年度から施行されている新学習指導要領にある「主体的で対話的な深い学び」に通じるところがあります。進んで読書に親しみ、他と感想交流（読書会）を通して、他と自分を比べながら自分の思いや考えを深めていく学習過程です。

ところで、「読み聞かせ」は小さい子を対象にしているものと思われがちですが、高校の野球部員に「読み聞かせ」をしていったところ、集中力がアップして強いチームになったという話があるように、小さい子に特化したものではありません。選書の難しさはありますが、高学年の児童にも「読み聞かせ」はおススメです。

また、「ファミリー読書」といって親子で同じ本について話し合う活動もおススメの読書です。様々な視点の違いに気づいて読みが深まったり、お互いの関係が近くなったりする機会になります。親子で同じ本の世界を語り合うって素敵だと思います。

コロナ禍で思い通りに行動できないような今だからこそ、本の世界に誘い、各々の想像力を広げているところへ旅して、「読書の秋」を楽しんでみませんか。